

第十一号

(表紙口絵)内藤以實書

葉來神社三輪流神樂	大宮 泰 五七
仙台郷土研究としての国分ものがたり(三)	藤原相之助 五七
林子平先生と父兄訓(中)	鈴木榮一郎 五七
根白石史蹟踏査会	五七
根白石史蹟踏査索引発行	五七
近事片々	五七
本会関係の教育功勞者	五七
新入会員	五七
菅原南山の俳書	小倉 博 五七

第十二号

(表紙出版)仙台城本丸絵図

仙台と羽黒山(二)	戸川 安彦 五七
仙台郷土研究としての国分ものがたり(四)	藤原相之助 五七
林子平先生と父兄訓(下)	鈴木榮一郎 五七
会 告	五七
近事片々	五七
新入会員	五七

第三号

(表紙)燕澤碑の前で説明を聴く

蒙古(徳王)(写真)

県社桜岡大神宮の沿革に就いて	林 生 五七
日本古風土記に現れた方言の研究	OTTO, KAROW 五七
仙台真語(四)	三原 良吉 五七
燕澤碑に蒙古徳王を迎へて	小倉 博 五七
斎藤報恩会の文化研究資料陳列公開	五七
良姫得生院三百年祭	五七
作 並	五七
近事片々	五七
仙台俳諧年表(三)	五七

第四号

(表紙)三浦乾也作納曾利面(写真)

黒川氏の史実	佐野 養吉 五七
特色ある仙台産の陶磁と人形	小原 侃 五七
鬼 首	五七
白石城下聴書	今井なか女談 五七
法隆寺壁面展	五七
坂元伊達家遠祖甲斐塚	五七

昭十五年成郷土誌関係出版物

五七

第十二巻総目次

第一号

山元寺小路特輯号一

(表紙)寺小路觀世音參詣の図

第十一巻巻頭語	阿刀田委員長 五七
元寺小路とその附近	小倉 博 五七
寺小路炉辺話	三原 良吉 五七
中見世資料展覧会	五七
船橋聖二「米雪」を読む	五七
近事片々、新入会員	五七
仙台俳諧年表(二)	小倉 博 五七

第二号

(表紙)仙台市本丸詰ノ門之図

本丸を中心とする仙台城址の再踏査

近江日野中井家資料と萬人構	阿刀田令造 五七
仙台藩の武備	藤原 勉 五七
近事片々、新入会員	五七
仙台俳諧年表(二)	小倉 博 五七

近事片々、受贈図書雑誌、新入会員

仙台俳諧年表(四) 小倉 博 五七

第五号

(表紙)南町通に在つた聖廟中和門

多門通の昔をかたる	佐々木書二郎 五七
藤原勉氏の「仙台藩の武備」に就て	三原 良吉 五七
狐漫談	小原 侃 五七
仙台先哲偉人顕彰会設立さる	五七
南朝忠臣大條家遠忌祭	五七
近事片々、新入会員	五七
仙台俳諧年表(五)	小倉 博 五七

第六号

(表紙)片桐石州畫状(清水遺函宛)(写真)

矢ノ目足艇の話、附矢ノ目杖	三原 良吉 五七
天下に誇示せる仙台織物	小原 侃 五七
緑蔭放談	檀田 達雄 五七
郷土雑纂	五七
宮城文化協会	五七
勳閑二百五十年忌	五七
近事片々、新入会員	五七
真山哲果全集を読む	阿刀田令造 五七

仙台俳諧年表(六) 小倉博 三三

第七号

(表紙)本吉郡横山村大徳寺青銅造五重塔(写真)
本会の宮城文化協会に入会したるにつき一言す
阿刀田令造 三六
大徳寺青銅造五重塔 小倉強 三二
女流俳匠采月尼 中山榮子 三〇
「昔ばなし」にあらはれた四倉龍燈 栗石太郎 三〇
近事片々、新入会員 三三
仙台俳諧年表(七) 三三

第八号

(表紙)評定橋の七夕流し
生成業展心 阿刀田令造 三六
仙台藩文化の源流 小倉博 三〇
名取郡六郷村の古碑 菊池武一 三〇
白石のお盆 日ノ浦すゑ女 三五
泉ヶ嶽のけつば猿のごと 小原侃 三五
近事片々 三三
ワクリといふ名に就て 三三
芳野花樹会懐紙 三六
仙台嶺の海の三百年 三六

第九号

(表紙)仙台市附近古代遺跡所在地
仙台地方の古代文化 伊東信雄 三六
仙台平野の展望 小倉強 三六
新伝馬町鎮座不動尊の縁起 佐々木喜一郎 三五
本吉郡誌の編纂 三〇
郷土史年表の出版 三二
近事片々、新入会員 三三

第十号

(表紙)伊達家上屋敷の門
白石の紙布に就て 國井喜太郎 三六
奥州白石産紙布織(上) 片倉信光 三五
補陀六角観音堂 小倉強 三三
深川佐賀町御歴敷御拝領の事 三三
出家己心の事 三三
奥州白石名産紙布織展覧会記念講演映画会と
ラジオ放送 三三
奥州白石名産紙布織展覧会 三三
近事片々、新入会員 三三

第十一号

(表紙)伊達家上屋敷の門

東北文化連盟の成立 阿刀田令造 三六
奥州白石産紙布織(下) 片倉信光 三六
矢目足軽及奥山氏につきて 齋藤恕平 三三
近事片々、新入会員 三三

第十二号

(表紙)田村家上屋敷の門
伊達政宗と太平洋 小倉博 三三
本吉郡調査報告 阿刀田令造 三六
甲冑墓に詣で、 高木義人 三六
大槻燮翁の磐城関係詩 栗石太郎 三三
犬の居ない出島 小原侃 三三
郷土研究座談会 三三
梅岡会々員募集 三三
近事片々、新入会員 三三

(6) 第十二巻第一号 昭和17年1月
第十四巻第七号 昭和19年7月

第十二巻総目次

第一号

↓落合直文号↓

(表紙)落合直文先生写真

巻頭言 阿刀田令造 五
御氏われ 三六
落合直文先生の生涯とその業績 松井澤作 七
萩の家夫人の性格の一面 小倉博 三三
落合直文先生年譜 三六
林子平先生百五十年祭 三三
近事片々、編輯後記 三三
落合直文先生著書目録 三三
(裏表紙)木血駒写真
別冊附録 農村新体制参考資料 三三
仙台藩農政御條目 三三
農家手習状 三三

第二号

(表紙)マニラ・フランシスコ会修院に建てた
文倉六右衛門掃留記念木標
大東亜経略の先覚者(上) 藤原相之助 三三
小笠原群岛と林子平 三三
南蛮使節の船 小倉博 三三
凶南雄飛養告祭 三三
凶南嶋翼 三三
近事片々 三三

第三号

(表紙)弘誓寺観音堂全景		
吾人の抱負、巻頭に題す	阿刀田金造	六
大東重経略の先覚者(下)	藤原相之助	六
弘誓寺観音堂	横山 秀哉	七
鐘銘雜俎	香取 三朗	六
近事片々、新入会員		六
(裏紙)明珍信家の兜、雪下久家の鑑		

第四号

(表紙)仙台城菊花模様高彫版字真		
皇運、特に創造精神	小倉 博 允	
凶南の鵬翼、今を奮ふ時		三
細谷十太郎翁の事ども	山本 晃 三	
横尾東作について	片倉 信光 三	
近事片々		三

第五号

(表紙)国宝建築堂島阿弥陀堂		
東北地方の国宝建築	小倉 強 三	
高藤報恩会博物館の陳列室を観る	小原 侃 三	
小田原参陣の政宗公	小倉 博 三	
仙台領内の子女嫁方風習其の他の報告		三

林子平先生百五十年忌大祭		一元
近事片々、新入会員		一元

第六号

(表紙)月ノ浦写真		
天保飢饉調査の一端	阿刀田金造	三
崇存法印と伝説(上)	黒澤 章二	三
月ノ浦踏査記	山本 晃	三
林子平先生百五十年祭執行概要		三

第七号

(表紙)真田姫の墓写真		
真田幸村後裔を探る(上)	益岡 四郎 四	
酒田氏年中行事	三原 良吉 四	
崇存法印と伝説(下)	黒澤 章二 五	
仙台領内子女の嫁方風習其の他の報告		五
道祖神に関する資料を求む		五
近事片々、新入会員		五

第八号

林子平先生百五十年祭特輯号(第一輯)		
(表紙)林子平先生の木像		
林子平先生と上藤球卿先生(上)	中村徳重郎	六
林子平先生記念展覧会及講演会		六

海の先覚者林子平先生	阿刀田金造	六
林子平先生を偲ぶ	土井 晩翠	三
林子平先生百五十年祭記念展覧会出品目録		三
近事片々		三

第九号

林子平先生百五十年祭特輯号(第二輯)		
(表紙)伊藤博文公の「林子平」詩草稿		
林子平先生と上藤球卿先生(下)	中村徳重郎	三
林子平先生木彫像開眼の光景		三
林子平記念展を観る	伊東 信雄	三
国宝として保存して欲しい	永田 衡吉	六
「海の先覚者林子平先生」の発行		六
新入会員		六

第十号

(表紙)新名勝繫司の絶景		
戦時医学の先覚大槻俊斎先生	佐々木 作	三
湯火傷療治寛(上)	三原 良吉	三
柳津村踏査	阿刀田金造	三
新指定の史蹟名勝天然記念物		三
道祖神に関する資料を求む(一)		三
仙台領内の子女の嫁方風習其の他の報告		三

近事片々		三
------	--	---

第十一号

(表紙)林子平筆蝦夷図の変遷		
仙台城大広間絵図に就て	小倉 強	三
「中尊寺大鏡」紹介	伊東 記 爵	
湯火傷療治寛(下)	三原 良吉	三
増田で吉野朝時代の古楮発見		三
海の先覚と北門の先覚	大友 喜作	三
聖徳太子振取の像拝受		三
聖徳太子に関する資料を求む(一)		三
釣鐘に勳員令下る、会員消息		三
郷土文化講演会、新入会員		三
近事片々		三
山伏神楽、播楽出版		三

第十二号

(表紙)阿闍陀船図		
理想策と現実策	大友 喜作	三
仙台俳諧系譜	小倉 博 三	
きよ女の年	小倉 博 三	
禾月尾句碑建立		三
道祖神に関する資料を求む(二)		三

近事片々 三六
 新入会員 三六

第十三卷総目次

第一号

養賢堂修復懸望 阿刀田令造 三六
 「海の先覚」と北門の先覚」を読み 中村徳重郎 三七
 政宗卿の雄図を偲ぶ軍神廣瀬中佐 三六
 大將士の家庭生活……「手記なみたのたね」 三六
 三原 良吉 三六
 泰心院蔵「五山十刹図」に就て 横山 秀哉 三七
 落合直文先生の事ども 藤廻舎主人 三六
 仙台家中の年始規式 (召出甚田氏の例) 片倉 信光 三六
 近事片々 三六

第二号

十七条憲法と公家諸法度と仙台参目 小倉 博 三六
 石川櫻所先生について(一) 石川 三郎 三六
 青木 大輔 三六

国宝建造物と防火設備 小倉 博 三五
 伊達政宗公の性格と事業 小倉 博 三六
 空の先駆者長矢宇殿閣書 白石郷土研究会 三七
 貞山様遺訓なるもの 三原 良吉 三六
 近事片々 三六
 石川櫻所関係書翰集(一) 青木 大輔 三六
 梅蘭遺墨展覧会・新入会員 三五

第六号

安萬侶に就て 片倉 信光 三五
 松窓乙二の人格 小倉 博 三六
 風土誌「白石煙火の証」 白石郷土研究会 三六
 石川櫻所関係書翰集(二) 青木 大輔 三六
 菅井梅園展覧会 四〇
 近事片々 四二
 新入会員 四三

第七号

大槻玄澤と仙台藩医学校 山形 敏一 四七
 「東禪寺殿討」のこと 内島 大哲 四三
 評言留記 耳 坊 四三
 石川櫻所関係書翰集(三) 青木 大輔 四四
 近事片々、編輯だより 四六

独眼龍の語源 三三
 奇説本満せる「理想策と現実策」を読み 中村徳重郎 三三

菅井梅園の書状 小倉 博 三六
 近事片々・新入会員 三六

第三号

時局と郷土研究 伊東 信雄 三三
 仙台藩の農民と桑目 小倉 博 三五
 新著「林子平」(永田衛吉氏著) 三六
 きば座敷 小倉 強 三六
 石川櫻所先生について(二) 石川 三郎 三六
 青木 大輔 三六
 近事片々 三六

第四号

町屋敷の遺構 三原 良吉 三五
 奥羽留守氏考 大島 正隆 三五
 阿刀田令造先生の「続々郷土人として」出づ 三六
 石川櫻所先生について(三) 石川 三郎 三六
 青木 大輔 三六
 近事片々 三六

第五号

近事片々 三六

第八号

総れ東北 伯崎 伊達 興宗 三三
 仙台藩と養賢堂 小倉 博 三六
 帝國海防の発達と林子平先生 伊東 信雄 三六
 宝の総遺跡と斎藤家 片倉 信光 四二
 本会集報 四四
 郷土界消息 四六
 近事片々・新入会員 四七

第九号

林子平先生版木焼失始末(上) 阿刀田令造 三三
 評言留記(二) 耳 坊 三六
 仙台藩温泉志(一) 山形 敏一 三六
 近事片々 三六

第十号

林子平先生版木焼失始末(下) 阿刀田令造 三三
 仙台藩温泉志(二) 山形 敏一 三六
 植物方言瑣談 佐々木 忠二郎 四三
 矢吹弘史氏の「落合直文」を讀む 松井 清作 四六
 近事片々 四七

第十一号

黄金山神社考 佐々木 敏雄稿 四七

仙台藩温泉志(三)	山形 敏一	頁
近事片々		五六
第十二号		
養賢堂開堂式記念講演会挨拶	阿刀田令造	五三
養賢堂開堂式挨拶	阿刀田令造	五五
金華山は涌谷黄金宮の分霊社	佐々木敏雄	五七
大島行	阿刀田令造	五八
仙台藩温泉志(四)	山形 敏一	五三
近事片々		五三
来年の郷土行事		五四
新入会員		五四

第十四卷総目次

第一・第二合併号

藩祖公の出陣(巻頭言)	阿刀田令造	
増陸東北、青年よ起て	阿刀田令造	頁
長崎佐助翁夜話(二)	佐々木敏雄稿	五三
七北田山の寺の復興協賛会		五七
仙台藩温泉志(五)	山形 敏一	五三
近事片々		五三

第七号

小倉博先生追悼号目次

小倉博夫人(表紙)	阿刀田令造	
靈前に捧げられし弔辞(表紙)	野口 明	
昭和十六年十二月八日 日米英開戦の朝仙台中 央放送局より放送中の小倉先生並筆蹟(写真)		
小倉博夫人を懐ふ	阿刀田令造	五七
小倉先生を懐ふ	飯野 哲二	五九
父の死の前夜	小倉 敏	六一
小倉博先生のみまかれるをいたみて		
	國の露社同人	六三
小倉先生年譜		六五
仙台郷土研究に発表せられた論文その他		六七
郷土紹介雑誌「わしが国さ」に執筆された小倉先 生の遺稿		六九
明治天皇聖蹟保存会と小倉先生	山本 晃	七一
追 憶	山本金次郎	七三
小倉先生を懐びまつりて	中山 榮子	七五
故小倉先生の「人の迷惑になる事はするな」に就 て	失 名 子	七七
小倉先生を懐ぶ座談会記録		七九

第三・第四合併号

前代の生活を探れ(表紙)	伊 東 信 雄
仙台藩医学校沿革史稿(上)	山 形 敏 一 五七
小倉先生を懐む	山 本 晃 五九
近事片々	六三

第五号

郷土力の發揮(表紙)	謙 堂
仙台藩医学校沿革史稿(下)	山 形 敏 一 六三
白石開書	白石郷土研究会 六五
白石の石合戦	
相撲取と殿様	
金華山の「子猿捕り」	小 原 侃 六七
近事片々	六七

第六号

山の寺復興を切望す(表紙一)	阿刀田令造
洞雲寺復興協賛会趣意書(表紙二)	小 倉 博
七北田山の寺の焼失	小 倉 強 七三
山ノ寺洞雲寺と七北田別馬念仏堂	三 原 良 吉 七五
龍門山洞雲寺伝(封内風土記より)	七九
古刹山ノ寺焼く	八三
編輯たより	八五

近事片々

新入会員

編輯後記

頁
七九
八一